

TOKYO IPO PCI ホールディングス (3918・東 M)



PCI ホールディングス (3918・東 M) の新規事業領域である IoT ソリューション事業が想定以上に伸びているようである。IoT 分野での技術提供は同社の成長戦略のひとつである。

同社は、3/31 付 1 : 2 で株式分割を実施し、直近の株価は 3,000 円前後の推移。
同社連結子会社の PCI ソリューションズが実証事業主体となっている「市バスを情報通信基地とする実証実験」が次なるステップへ進んでいるとのこと。PCI ソリューションズは、「V2X ユニット」を活用したソフトウェア技術を神戸市の市バス 66 系統での実験に提供している。リアルタイムの市バス運行情報をオープンデータ化し、今後、大規模災害時における緊急情報の伝達などにも展開していく予定。さらに、実証実験の第二段階として、デジタルサイネージや車外カメラを設置し、利用者・市民へのさらなる情報発信の可能性についての実証試験が行われるとのこと。将来的には、大規模災害時の有用な情報伝達の在り方の検証等にもいかされるとのことである。実験結果を踏まえ、今年度中の本格導入が検討されるようである。

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1345341>

また、同社連結子会社の PCI ソリューションズが出資している（株）アマネク・テレマティクスデザインが提供する V-Low マルチメディア放送において、九州地方へ向けた通行実績情報を提供開始した。

第 2 四半期決算説明会は 5/18 を予定。

過去の取材記事はこちら⇒

http://www.tokyoipo.com/rcs_ctl/acs_lg.php?cnt_code=ireport_3918